



長引く梅雨と暑い日々が続きました。感染症の流行も変わって、インフルエンザは見かけなくなりましたが、溶連菌、アデノウイルス、RSウイルス、手足口病と様々です。新型コロナウイルスも度々学校や園単位での流行は続いています。今回は「水痘」、通称「みずぼうそう」について今一度おさらいしたいとおもいます。覚えておいていただきたい症状・病態・罹患時の対応を紹介します。

「水痘(みずぼうそう)」ってなあに？

水痘・带状疱疹ウイルス感染による、全身に「水疱」を伴う発疹が出る感染症です。発熱、発疹(全身に200~300個)を認めます。

【感染経路・潜伏期間】

冬から春に多く、接触、飛沫からだけでなく、空気感染もおこします。この病気も「家庭」や「保育園・幼稚園」「学校」などの多数の人が同じ空間に長時間過ごす場所で感染が広がります。

潜伏期間が「14~16日間」と比較的長いです。大人が感染すると重症化する傾向が強いのでご両親も要注意です。妊婦の感染は生まれてくる赤ちゃんにとって危険となる可能性があります。

診断と治療法は？



迅速検査はありません、。診断は基本的には診察による「臨床診断」です。

ウイルス感染なので抗菌薬ではなく抗ウイルス薬の内服と、発疹に対しての塗り薬で治療します。

予防のためのワクチンを打っていますよね？

重症化・合併症は？

合併症として多いのは、発疹の二次的な細菌感染です。

重症な合併症として「水痘脳炎」が1/33000であります。

いつから登園・登校していいの？

治るまでに通常は約1週間程度かかります。抗癌剤やステロイドなどの治療をしている場合は重症となります。

登園・登校については「すべての発疹がかさぶたになってから」です。

出席停止期間は定められておりません。

【ここ数ヶ月間に当院病児保育をご利用された方の病気】

「胃腸炎」「アデノウイルス感染症」「溶連菌感染症」「手足口病」「RSウイルス感染症」などなど、

やまさきこどもクリニック
病児保育室 Teddy's

TEL: 0956-37-8813

